



くまがわ



ヤツシロソウ 撮影 宮本憲司朗

熊本地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

ヤツシロソウは、松井家の殿様が、江戸時代、参勤交代の折、産山村で見つけ、將軍家に献上したと伝えられています。そして、將軍より「ヤツシロソウ」と命名を許されたそうです。2013年8月14日に、産山村に近い阿蘇の草原で自生しているヤツシロソウを偶然見つけ、カメラにおさめました。次の年にまた行ってみましたが、見つかりませんでした。

Contents

- 2P ● 2016年4月14日、4月16日熊本地震
- 3P ● 平成28年度 看護の日イベント開催
- 4P ● 院内勉強会
 - 認知症勉強会 ● 気分障害勉強会
 - 発達障害勉強会
- 5P ● イベント紹介
 - 城南地区春季球技大会 ● バス旅行
 - 真剣勝負!

今年も盛り上がったレクリエーション大会!
- 6P ● 震災ボランティア ● 三中生職場体験
- 7P ● 熊日看護師就職支援ガイダンスに参加して
 - 実習を終えて

理念

地域社会に信頼される精神科医療をめざし、患者様に安全で安心される質の高いあたたかさで癒しの医療を提供します。

基本方針

1. 満足していただける医療を行います。
2. 快適な院内環境に努めます。
3. 専門知識の向上に努めます。

患者様の権利

1. 個人として、その人権を尊重される権利
2. 自分の受けている治療について知る権利
3. 良質の医療を受け、選べる権利
4. 公平で差別されない医療、及び、対応を受ける権利
5. 安心、安全な環境で治療を受ける権利

2016年4月14日,4月16日熊本地震

理事長 院長 宮本憲司朗

今回の熊本地震で亡くなられた方のご冥福をお祈りし、負傷されたり、家屋の倒壊などの被災に遭われた方々にお見舞い申し上げます。

未曾有の地震を体験し、恐怖を感じたことを被災とすれば熊本県の多くの人々が被災者と呼べると思います。そうであれば、私も被災者の一人であるのかもしれません。4月14日午後9時半頃、下から突き上げる衝撃に続く、激しい揺れ、その後すぐに、携帯の警告アラームがけたたましく鳴り出しました。テレビで益城町の被害報道を見て、家族、病院へ連絡し、安否確認をしました。病院では、もうすでに、当直の阿部副院長と夜勤スタッフとで患者様全員の無事を確認したとの報告を受け、安堵いたしました。また迅速な対応に感心いたしました。家族の無事も確認できました。いつでも外に出られるように着替え、靴も横に置いて休みましたが、余震による恐怖・不安もあり、ほとんど眠れませんでした。

翌朝、大渋滞の国道を2時間半かけて病院へ到着しました。病院は平常通り稼働していましたが、震源地近くの精神科病院が被災し、患者さんを院外へ避難させないといけない状況になっていました。ジャンボタクシーをチャーターし、避難受け入れにスタッフ3名と向かいました。途中国道上り線は支援に向かう他県ナンバーの車で大渋滞でした。2時間以上かけて、患者さんが一時避難している高校の体育館に到着しました。体育館の床にマットを並べ横になっている患者さんや、落ち着きなく動き回っている患者さんもありました。入り口の大きな机（今思うと卓球台だったかもしれません。）があり、その前に、被災病院の院長や幹部のスタッフが陣取って、160名ほどの患者さんの名前が書いてある、大きなダンボール紙を広げて、各病院への割り振りを采配されていました。5名の患者さんをお引き受けし、また2時間半かけて

病院へ戻りました。この5名の患者様は5月中旬に元の病院へ無事お返し出来ました。

15日は自宅に戻ったのが午後8時過ぎだったと思います。疲れ果てて、風呂に入っすぐ寝てしまいました。疲労困憊して、靴を枕元に置くのを忘れ、寝巻に着替えて寝込んでしまいました。

16日午前1時半頃強烈な突き上げと、激しい揺れでベッドから放り出されました。部屋全体が揺れ、ベッドが飛び跳ね、映画を見ているような感じで、油断したという後悔と、屋根が潰れてくるかもしれないという恐怖に襲われました。八代に1mの津波警報が出たので、当直の押領司先生に連絡しました。この時も、夜勤スタッフが機敏に働いて、1階にいらっしゃる23名の患者様を全員2階へ、すでに移動しているとの報告を受け、スタッフの活躍に感謝いたしました。

16日には、被災した別の病院から2名の患者様が避難入院して来られました。19日には震度5強を病院の中で体験し、病院設備を点検して回りました。

その後も余震が記録的な回数で続いています。八代更生病院は大した被害がなく、ライフラインも止まらなかったのですが、震源地に近いところから通うスタッフには結構な被害が出ていました。多くのスタッフが車中泊をしながら、避難しながら勤務を続け、患者様の医療を休むことなく行っていました。この時期、熊本地震を経験した多くの人々は、余震の恐怖に怯えながら、日常の仕事を遂行する使命感で働いていたと思います。

この熊本地震を体験し、これまでの防災対策レベルを見直す、良い機会と捉え、熊本県が宣言したように、「創造的復興」を八代更生病院も目指していきたいと思っています。

平成28年度 看護の日イベント開催

平成28年6月4日 境 正信

はじめに4月14日、4月16日の熊本地震で被災された方々へ心よりお見舞いを申し上げます。



「看護の日」は全国的にナイチンゲールの誕生日の5月12日の週に設定されており、21世紀の高齢化社会を支えていくために、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、広く国民が分かち合うことが必要であり、老若男女を問わず、誰でも認識するきっかけとなるように制定されています。八代更生病院では毎年「看護の日」にイベントを企画、開催しており、今回で8回目となります。

今回は「認知症の予防」をテーマに、当院看護師より「4大認知症」についての症状別看護対応について紹介し、特別講演として、認知症サポーターを養成されているキャラバンメイトの宮本暢子先生に「みんなで楽しく認知症予防～デュアルタスクの実践～」についての御講演をいただきました。

当院の症状別の看護としては、具体的にレビー小体型認知症の幻視への介入、食行動障害に対する場面設定を行い、良い対応、悪い対応の寸劇を行うことで認知症の症状と対応をより理解していただけたのではないかと思います。

特別講演では、認知症の予防のポイントと、デュアルタスクの基礎知識を学び、参加者全員でデュアルタスクを実践しました。デュアルタスクとは「2つの事を同時に行う能力」という意味で、2つのことを同時に行うことが人間の脳への良い刺激となり、認知症予防へつながることを学び、実際に体験することでその楽しさと難しさがより分かりました。これからも継続して認知症を予防しようという意欲にもつながりました。

参加者の感想として、「参加して良かった。認知症にならないように今後もデュアルタスクを続けて行っていきたい」「やってみると難しいけど、とても楽しい」などたくさんの感想がありました。

高齢化社会の中で認知症の患者さんも増加傾向にあり、認知症予防の視点はとても重要だと思っています。私たち医療従事者は認知症患者さんへの対応に加え、認知症予防についても推進していく立場にあります。地域の方々へも認知症への理解を深めていただける支援を行いながら、ともに支えあい、助け合える仲間となれるよう、日々努力していきたいと思っています。



院内勉強会

各疾患別の治療および看護についての知識の習得、再学習、スキルアップを目的として当院では、各勉強会に顧問の医師を中心に看護部、コメディカル、栄養科、訪問看護部など多職種を対象として、定期的に各疾患別勉強会を開催しております。

認知症勉強会

当院における認知症看護は、4大認知症それぞれの特徴を理解し、タイプ別看護を行っています。

平成22年9月に第一回認知症勉強会を毎月開催し、今年5月で67回目を迎えます。

毎月、宮本理事長をはじめ、各部署より事例を出しながら症状別対応など事例検討会を通して学んでいます。

事例を通して対応を学び、患者様にとって「なじみの環境」で治療に専念していただけるようがんばっています。

田上 三代子



気分障害勉強会

気分障害勉強会は顧問の阿部副院長を中心に各部署の勉強会担当委員で構成され、平成24年度の6月より2ヵ月に1回の偶数月に計画し、実施しております。

気分障害の心理教育、薬物療法、リハビリテーション、認知行動療法、事例検討会等、気分障害の治療や看護に必要な項目をピックアップし、毎回テーマを掲げて多職種でよりよいサポートができる様学習しています。今後も内容を充実させ、患者様が安心できる医療の提供、日々の看護に生かせるよう勉強会を継続していきたいと思っております。

境 正信



発達障害勉強会

発達障害のある人は、コミュニケーションや対人関係をつくるのが苦手で、その行動や態度は「自分勝手」とか「変わった人」「困った人」と誤解され、敬遠されることも少なくありません。スタッフも対応に苦慮する場面も多々ありました。

安川副院長を中心に、平成24年より2ヵ月に1回開催し21回を迎えました。

発達障害勉強会では、発達障害のある人を理解し、その人に合った支援を行うために、自閉症、アスペルガー症候群、学習障害、注意欠陥多動性障害など発達障害の特徴を学び、実際の事例を通して看護・支援を振り返り、事例検討会をおこなっています。学習を重ねよりよいサポート

ができるよう取り組んでいきたいと思っております。

鶴山 泰子



イベント紹介

● やった～！ 総合優勝！

平成28年4月13日 内山 直人

今年も恒例の城南地区春季球技大会が開催されました。雨が心配されましたが、大きな天候の崩れもなく、無事に行うことが出来ました。結果としては、みんなで一致団結し、総合優勝という結果を得ることが出来ました。各種目、応援の音が飛び交い、いつにも増して真剣な表情で頑張っておられました。

大会終了後も「ひさしぶりの優勝だったな。」「うれしかった～」などの声が聞かれ、患者様もスタッフも笑顔で大会を終えることができ、嬉しい限りです。

また次回の秋季大会も優勝を目指して頑張りたいと思います。



● 6月のバス旅行

平成28年6月16日 宮崎 望美

毎年患者様が楽しみにされている行バス旅行。5月に予定されていましたが、4月に発生しました熊本地震のため6月に予定を変更。今年は鹿児島県のクレインパークいづみと箱崎八幡宮に行ってきました。

あいにくの雨だったのですが、現地ではあまり雨も降らず、患者様も楽しんでおられました。

クレインパークいづみでは、ガイドさんより説明して頂き皆様熱心に聞かれていました。

箱崎八幡宮では日本一の大鈴を見て楽しまれ、その後お宮でお参りをされました。

帰りにはお買い物など楽しまれ患者様の笑顔がたくさん見られたので、バス旅行を企画してよかったなあと感じました。

また来年のバス旅行が楽しみです。



● 真剣勝負！今年も盛り上がったレクリエーション大会！

平成28年7月16日 野田 誠也

今年も暑い季節になりました。毎年恒例となってきました、室内レクリエーション大会が今年も行われました。熊本地震をもぶっ飛ばす白熱した大会となりました。

今年の室内レクリエーションの内容として、トランプの神経衰弱、花札、かるた、将棋、麻雀の5種目を行いました。

麻雀、将棋は毎年人気があり、参加者の皆様も真剣そのもの。花札、神経衰弱の参加者は真剣さの中にも参加メンバーと和やかに会話や交流を楽しむ様子が見られていました。今年はかるたへの参加者が少なかったのですが、参加者

の方々はもちろん観戦している方もかるたに手が伸びそうになるなど、参加している気分になり盛り上がっていました。患者様の素早い手さばきに、スタッフ一同度肝を抜かれました。

患者様同士で過ごされた一日、思い出の1ページになったのではないかと思います。今から、来年の室内レクリエーション大会が楽しみです。



震災ボランティア・三中生職場体験

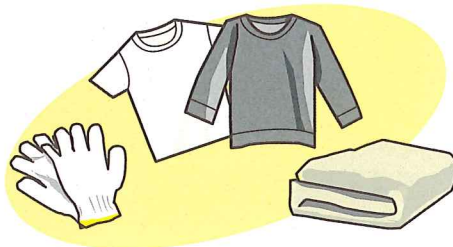
災害支援ボランティアを行って

平成28年4月29日 岩本 美幸

4月14日と15日未明に熊本地震に見舞われ、熊本の大地は激しく揺れ、尊い命が失われ、数多くの方達が避難生活を強いられました。私の住む八代市も大きな揺れがあり、大きな被害はでませんでしたが、余震への恐怖感の中で生活をしていました。

その時に、私の応援するプロレスラーが益城町でボランティアを行うという連絡があり、参加することにしました。しかし、テレビで報道されていた状況が益城町に向かう私たちの目の前に広がり地震のおそろしさを目の当たりにしました。ほとんどの家がブルーシートや倒壊の恐れがあるという赤い札を張られていたり、道路が隆起していたり重機ではないと通れない道など、本来ならば45分もあればつく場所に2時間30分かかりました。

益城町に到着し、最初に目にしたのはテントや、車中で避難されている方が多くいらっしゃ



る中で、大量の水や食料の支援物資があるのにその場所には人はいないという不思議な光景でした。話を聞くと、その時に必要なものは生活用品に変わったということでした。

そこで、プロレスラーの方々と、Tシャツやタオル、片づけに必要な軍手などを配るという作業を3時間行いました。自宅に入れず、着替えがなく困っていらっしゃる方など、たくさんの方で行列ができました。熊本はプロレスに熱い地域であり、多くのファンがいらっしゃる中で、皆さんの「サインが欲しい」という希望に一つ一つこたえ、炎天下の中、ボランティアに参加している全員が被災者でありながらも「がんばってください。」と声をかけ、互いに励まし合っている光景が印象的でした。

三中生職場体験 平成28年7月5日～7日

宮原 幸祐、水田 豊彦

私達は、今回の八代第三中学校2年生の看護体験に際して、看護師の仕事の基本であるコミュニケーションの取り方・バイタルサイン測定の方法を始め、食事介助、移乗・移送などについて講師として伝えました。

私達も中学生の時に職場体験を行い、将来自分がどのような職業に就きたいのか考える良い機会になったことを思い出し、中学生にも職業選びの参考となるように伝えようと努力しました。実際に、体験をしてもらいながら説明を行うのはとても難しく、中学生に理解してもらえたのかはわかりません。しかし、笑顔で質問に答えてくれたり、体験されていたので、楽しんで看護体験をすることが出来たのではないかと思います。

講師として念頭に置いていたことは、一方的に説明をするのではなく、見せること、感じられ

ること、考えることを目的とし、クイズ形式にしてみたり、豆知識のようにして内容を伝えるようにしました。終始笑顔が見られたことから、看護師の仕事に良い印象、又は興味を持ってもらうことは出来たのではないかと思います。

今回の看護体験で、私達も普段行っている仕事を振り返ることが出来ました。専門用語でなく、相手の理解を一番に考え、分かる言葉で説明することや、より一層の知識や理解、技術の習得をしなければと思いました。



熊日看護師就職支援ガイダンスに参加して

平成28年4月9日 本村 優子

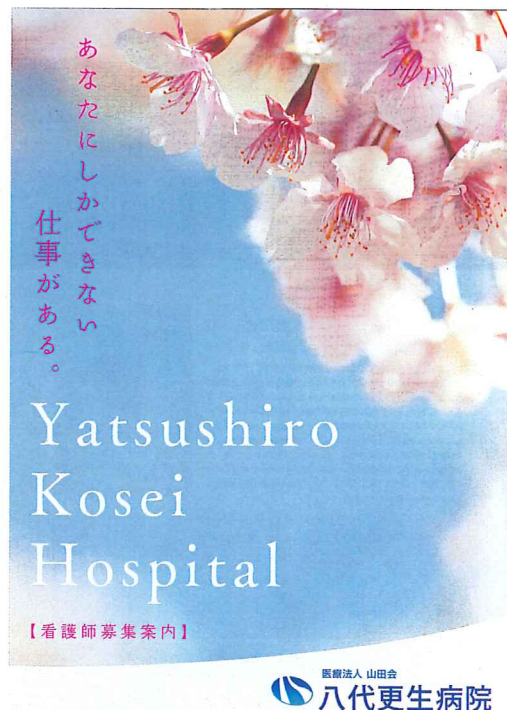
くまもと県民交流会館パレアで開催された「熊日看護師就職支援ガイダンス2017」に看護部長・事務長と病棟科長など9名で初めて参加しました。熊本県内から41病院の参加があり、2017新卒者対象ということでリクルートスーツの方が多く、とても活気がありました。

参加するにあたり、まず当院の名前を知ってもらう事、当院が取りくんでいる看護についてアピールできるような内容のパンフレットを作成すること等を目標に取りくみました。スタッフ皆で意見を出し合い、八代市の花である桜の表紙で優しいイメージとなりました。新人看護師やママさん看護師のワークライフバランスを支援していることや教育体系などを盛り込んだパンフレットとなりました。院外でのイベントの看護の日のイベントなどにも活用できるバナースタンドも購入しました。

ガイダンス会場では、パンフレット・バナースタンド・新しい白衣などを持参し設置しました。その中で、八代更生病院は病院の中で機能分化を行って治療が実施されていること、認知症治療病棟での認知症医療看護や精神科急性期治療病棟での疾病別（発達障害や気分障害看護）また、精神科治療で特化しているm-ECTやクロザピンの治療についてアピールしました。

初参加をさせていただいたことで、熊本県内の新卒者の方に当院の名前や取り組みや特徴を知ってもらう良い機会となりました。いろいろな病院のコーナーの趣向をこらした掲示なども

見学し、次年度にむけて課題が明確になり収穫が大きいものとなりました。



OT実習生より～実習を終えて～

熊本保健科学大学 リハビリテーション学科
生活機能療法学専攻 ^{しょうの} 庄野 ^{りさ} 里沙

今回の8週間の実習では不安や緊張から始まりましたが、明るいOTスタッフの皆様と過ごす中で緊張もほぐれ、充実した日々を送ることができました。患者様にもたくさん声を掛けて頂き、少しの会話でも楽しむことができ、思い出にもなりました。

丁寧にご指導をいただいたOTスタッフの皆様をはじめ、多くの職員の方々に感謝しております。

今回の実習で感じたことを忘れず、今後に活かして頑張りたいです。本当にありがとうございました。

外来診療 ご案内

※精神科医が
担当します。

		月	火	水	木	金	土
午前	新来	○	○	○	○	○	
	再来	○	○	○	○	○	○
午後		予約外来					休診

診療 科目

精神科、心療内科、内科

受付 時間

新来 ▶ 午前 8:30～11:30(月～金)

再来 ▶ 午前 8:30～12:00(月～土)

午後13:30～16:00(月～金)

新来は予約制で月～金曜日の午前中のみとなります。

交通の ご案内



- JR八代駅から……………車で15分
- バスでお越しの際は八代駅方面から
産交バス植柳経由→「南平和町」行き、
又は植柳経由→「君ヶ淵」「破木」「坂本駅」行きに
お乗りください
- 産交バス「千反町」バス停より徒歩3分
- ゆめバス「迎町交差点」バス停より徒歩3分

スタッフ募集

現在、医師、薬剤師、看護師、
准看護師、調理師、調理補助、
看護補助を募集しています。

委細面談

連絡は、事務長 嶋田まで、ご連絡ください。



医療法人 山田会

八代更生病院

〒866-0043 八代市古城町1705

TEL(0965)33-4205

FAX(0965)35-8275

URL <http://www.y-kousei.jp/>

mail info@y-kousei.jp